

第1号議案

2021年度 鶴川地区協議会事業報告（案）

ア) 広報広聴事業

- ① 鶴川地区協議会のホームページを随時更新した。お店紹介や地区協議会便りを掲載し、コンテンツの充実化を図った。
- ② 鶴川地区協議会便りを毎月一回発行した。
- ③ LINEのメッセージ機能やSNSを活用し、週1回、地域イベントの情報を配信した。また、YouTubeチャンネルを作成し、まなびのひろば等の講座の様子を動画配信した。

実施日： ①②③通年

※事業効果

- ・ 地区協議会便りの発行やホームページを月2回更新した。コンテンツも増え、広報の幅が広がったことでホームページの活用頻度が上がった。
- ・ YouTubeチャンネルを開設し動画配信したことで、鶴川地区協議会幅広い世代に広く認知していただくきっかけとなった。

※発行部数 54,000部

※スタッフ数（延べ人数） 150名（発行・取材）

イ) 地域活性化事業

① レッツごはん

今年度も新型コロナウイルス拡大に伴い、毎月の食事会を食材配布に切り替え生活困窮者へ年12回配布した。鶴川地区協議会としては、寄付でいただいた食材提供と事業周知の支援を行った。

② 無料塾「結」

経済的格差により学校以外での学習機会等が得られない中学生を対象に高校受験に向けた対面式やオンラインによる学習支援を実施した。夏期講習なども含めると授業数は130回を超え、学習支援に来ている子供たちへ食事のサポートも行った。鶴川地区協議会としては、寄付でいただいた食材の提供と事業周知の支援を行った。

③ 外国人&日本人親子サークルだんろ

季節の行事や読み聞かせ等の交流会を多言語で月2回実施した。

鶴川地区協議会としては、事業周知の支援を行った。

④ ぼくはぼく

第1号議案

家族関係や介護疲れで困っている方の居場所づくりを実施した。

鶴川地区協議会としては、寄付でいただいた食材提供と事業周知の支援 を行った。

⑤ NPO法人 みんなのそら

未就学児から小学生、保護者が気軽に立ち寄れる場所づくりを実施した。

鶴川地区協議会としては、事業周知の支援を行った。

⑥ 町田にベイビーシアターを広げる会

親子で参加するワークショップの開催やミニシアターの上演会を実施

した。鶴川地区協議会としては、事業周知の支援を行った。

※事業効果

- ① 活動が広まり、食料品の提供も前年以上に増えたことで、食料品を必要とする方々への支援がさらに広がった。
- ② 今年度も生徒数が増え、無料の学習支援を必要としている子たちへ情報が届きつつあることを改めて実感した。
- ③ 鶴川地区に住んでいる外国人との交流を通じて、生活の困りごとから支援につながるきっかけができた。
- ④ 障がいがある方、無い方の隔たりなく集まれたことで、共生社会への実現に向け、取り組む事ができた。特別支援学校卒業した方等の居場所作りができた。
- ⑤ 子育てに悩みを抱える親子の集いの場を提供できた。
- ⑥ 一人で子育てを頑張っている親子へ、歌と踊りを通して連帯感を持つ場を作れた。

※ 鶴川地区協議会の取り組むべき目標の鶴川地域で活動している市民団体を応援することにより鶴川地域が活性化し、上記事業を通じ、子どもから高齢者まで世代を超えつながる地域になるきっかけを作ることができた。

※参加人数（延べ人数）

①420名 ②1300名 ③360名 ④750名 ⑤180名 ⑥120名

※スタッフ数（延べ人数）

①80名 ②130名 ③45名 ④430名 ⑤45名 ⑥30名